

諸福小だより

～一人ひとりが生かされ 笑顔あふれる学校～

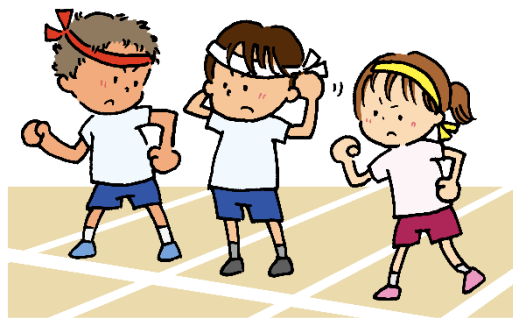
大東市立諸福小学校
校長 田村 ひとみ
令和3年10月15日(金)
☎ 072-873-5816

このあと急に冷え込む予想です。風邪に注意を！

これまで、ちょっと朝晩涼しくなっても昼間は暑い日が続いていました。しかし、この週末からは最高気温が一気に 10℃近く下がる予報が出ています。現時点で10/18(月)の大阪府は最低気温 12℃、最高気温 20℃の予想です。これは、どちらもここ 30 年間の 10 月の平均よりも3℃ぐらい低い温度です。天気「絶対」はありませんが、念のためこの週末のうちに上着などの準備をお願いします。

学習活動はすこしずつできることが増えています。

現在、大阪の感染状況は「イエロー」で「ステージ2」です。そのため、教育活動においては十分な感染防止策を行ったうえでのグループ活動などが実施可能となりました。しかし、長時間のグループ活動・大声を出す・接触のある活動・管楽器演奏や合唱などについては、「慎重に検討」することが求められています。さらに、本校は児童数が多く、十分な距離をとることが困難なので、学年全体で行う活動は制約が多くなります。それらの条件を満たしつつ、日頃の学習や行事ではできることを最大限実現していきたいと考えておりますので、ご理解ください。



しかし、まだまだ感染予防は必要です。

札幌市では 10 月 12 日に、21 人のクラスターが発生しました。感染した人は、マスクをせずに長時間飲酒やカラオケをしていたということです。

このことは、**感染状況が好転して制限が解除されても、基本的な感染対策ができていないと、すぐにクラスターが発生して感染がひろがる**ことを示しています。

現在、小さな子どもはまだワクチンを打てません。もしも感染して発症したら、有効な薬がまだない、後遺症があるかもしれないなど、危険な要素はたくさんあります。大変ですが、今後も引き続き感染予防へのご協力をお願いします。



10/11 児童集会でのお話 (修学旅行に向けて)

おはようございます。みなさん、今朝、朝ごはんは食べましたか？昨夜はしっかり眠れましたか？ところで、世界にはある日突然家がなくなったり、お父さんやお母さんがなくなったり、食べ物や安心して生活できる場所がなくなったりする子どもがたくさんいることを知っていますか？

今日のお話は「戦争や紛争」についてです。

「戦争」というのは、簡単に言うと国と国のけんかです。それぞれの国が、「自分たちのほうが正しい」と思って、相手の国を攻撃します。ミサイル爆弾や核兵器など、あらゆる手段で相手の国の物や人を攻撃します。「紛争」というのは、国同士ではないけれども、意見のちがう人たちが戦争のようにお互いを攻撃し合うことです。殆ど戦争と同じです。

この地図を見てください。赤く塗られているのが今、紛争が起きている国です。たくさんあるでしょう？紛争が起きていない国の方が少ないようです。(下の地図参照)

私たちがこうやって椅子にすわって人の話を聞いたり、家でお菓子を食べてながらテレビやインターネットを見たりしている間にも、これらの地域に住んでいる人は、いつ誰かに攻撃されないかドキドキしたり、今まさに攻撃されてつらい目にあっているかもしれません。あるいは、紛争に勝つために、むりやり誰かと戦わされているかもしれません。それが小さな子どもであってもです。実際、日本も昔は大きな戦争をして、とても苦しい生活をしてきたことがありました。

朝からつらい話でごめんなさい。なぜこのお話をしたかという、諸福小学校では毎年6年生が修学旅行で広島へ行きます。なぜ、広島なのか。何のためか。「今から約 80 年前に起きた大きな戦争で、日本の広島と長崎に原子爆弾という恐ろしい爆弾が落とされ、それだけで合わせて 21 万人以上の方が亡くなった。そういうひどいことが、これから二度と起きないようにしたい。そのために私たちができることは何だろうか。」ということを考えるためです。このことを諸福小のみんなに伝えたかった。

ほかの学年のみなさんにも、協力をしてもらうことがあると思いますが、修学旅行にはこんな意味があるということを知ってください。そして今、日本に住む私たちが、こうやって服を着て、ごはんを食べて、眠る場所がある生活ができているのは、家族の人のおかげということはもちろんですが、戦争を乗り越え、戦争が起こらないように頑張っている、たくさんの人々のおかげなのです。

お話終わります。



こんな話をした日、廊下で会った1年生の子が「戦争って、いややな。」と喋ってくれました。「ちゃんと話を聞いてくれたんだな」と、うれしく思いました。